

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500182
法人名	有限会社うれし舎
事業所名	グループホームうれし舎
所在地	〒896-0078鹿児島県いちき串木野市生福6303-9 (電話) 0996 (32) 5061
自己評価作成日	令和2年5月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 周囲を田畑に囲まれ、四季の移ろいを日々感じれる
- ご利用者様に常に寄り添ったコミュニケーション
- 制約や拘束が無く、明るく開放的で自由な雰囲気
- 常時ご利用者様本位でのサービスの提供

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成2年5月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地から車で5分程離れた自然豊かな農村地区に、平成17年に個人住宅等に隣接して開設されており、少し離れて小・中学校、保育所、公園等がある。ホームの敷地には樹木や草花が植えられ周辺の田園も眺められて、利用者は四季を感じながら平穏に過している。

開設以来、地域との交流に積極的に取り組んでおり、総会の出席や地域の情報を把握して「花冠祭」の見物、清掃活動等に参加している。家族や友人知人の来訪が頻繁にあり(毎月60～70人)、また、法人主催のイベントには地域の人々の参加が得られ、日頃の散歩、通院、買い物時の会話やボランティア等の慰問、農産物を頂く等の円滑な交流は、利用者の楽しみとなっている。

管理者及び職員は、独自の理念をホーム内に掲示し、ケアの振り返りや意見交換等で周知を図っており、利用者の尊厳や思いを大切に家庭同様に平穏な暮らしとなるよう工夫しながら支援している。利用者一人一人の身心の状況や意向、家族関係等を把握しながら可能な限り、本人が自己決定できるような関わりに努め、個別の支援にも積極的に取り組んでいる。特に、利用者の一番の楽しみで関心事でもある食事については、好みや疾病に伴う制限等を把握しながら、おせちや誕生日、敬老会等の行事食や外食、イチゴ大福等手作りのおやつ、うどんを手打ちするなど工夫し、旬の食材や栄養バランス、盛り付け等にも配慮しており、利用者も楽しみながら一緒に調理している。家族からの要望等に対しては、職員会議等で協議して速やかに改善を図っており、家族との信頼関係が築かれている。

管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションに努めて気軽に意見を言い合える関係を構築しており、信頼と協体制に満ちた職場となっている。勤務シフトの作成や外部研修の受講には職員の意見や個人的事情等に十分配慮し、日常的にケアに対する助言・指導やスキルアップを図る研修の実施に努めている。また、外部研修の受講に際しては勤務への配慮や経費の助成体制が整備され、処遇改善加算も積極的に活用して賃金の改善を図るなど、働きやすい職場環境に取り組んでおり職員の就労意欲に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有については職員の目の届くところに掲げ、「ご利用者が自宅で生活しているのと同じような気持ちで生活する」をモットーに実践に繋げている	開設時に作成した理念に、「利用者が住み慣れた地域の中で家庭と同様の気持ちで日常生活をおくる」を掲げ、玄関等への掲示や職員会議時の振り返り等で理念の共有を図っており、日々理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館に加入し、会費も払っている 公民館長にも運営推進会議に参加していただいている	開設以来、自治会に加入し積極的に地域との交流に取り組んでおり、総会の出席や清掃活動、イベント(花冠祭等)に参加している。また、毎月60～70人の面会があり、ホームの行事にも地域住民の参加が得られている。日頃の散歩や通院時には地域の人との会話を楽しみ、農産物を頂いたり、ボランティアによる慰問や中学生の職場体験等も受け入れるなど、円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	施設の行事には慰問で外部の方がボランティアで来てくださっている 近所の方にも呼びかけ、施設の事を理解してもらえるようにしている 地域中学生の職場体験も受け入れている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回運営推進会議を行っている 公民館長・民生委員・包括・ご家族代表の方に参加いただき、話し合う場にもなっている	会議は隔月ごとに定期的に行われ、家族代表、民生委員、公民館長、市担当職員等が参加している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット事例等を報告し、委員からは利用者のケアや防災、感染症等に関する意見が熱心に出されており、サービスの改善に繋げている。会議録は家族にも送付すると共に、来訪者が閲覧できるように外部評価の結果等と併せて常時玄関にも置いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新等で行政窓口に出向き、ご意見・ご指示を頂いている 事業所の状況（事故等）の報告をし、指示を頂いている	市の担当者には、運営推進会議に出席してもらいホームの状況の理解を得ている。電話や市窓口に出向いて、介護保険の更新やホームの運営、災害時の対応、各制度の相談等を行って助言・指導を頂く等、日頃から協力関係を築いている。行政主催の会合等にも積極的に参加して情報の交換を行い、介護相談員も毎月受け入れてサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置 年4回の自主学習会を実施しており、全スタッフが共通理解している	身体拘束に関しては運営規定や重要事項、利用契約書に明記し、適切なケアの取り組みに向けた研修の実施や委員会も年4回開催して、言葉づかいやケアの具体的事例による意見交換等を行って認識を共有している。日中は施錠しないで寄り添いや見守り等に努めて安全を図り、外出したがる利用者には散歩に同行するなど工夫して自由な暮らしの支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の尊厳を守り、声掛け・言葉遣いについてもスタッフ間で共有し話し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修に個人参加し学ぶ機会はあるが、施設での勉強会の実施は無い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前にご家族に見学に来ていただき、看取りの方向性まで含め十分に説明している 不安の内容に疑問・意向を伺い納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時等にご家族とコミュニケーションを図っている その時いただいたご意見等についてはカンファレンス等を通じて運営に反映させている	利用者の想いは、日頃のケアの中での対話や表情、仕草等から理解に努め、家族からの意見、要望は、日頃の面会や電話、ケアプラン作成時の面談、アンケート、運営推進会議、家族会議での会話、利用者の近況を伝える写真やお便りの送付等、工夫して把握している。出された意見は職員会議等で協議し、介護計画にも反映させるなど、運営やサービスの改善に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見を言える雰囲気や関係性に努めている 毎月のカンファレンス等でも意見が出る機会になっている	管理者は日頃からコミュニケーションに努めており、「何でもノート」も活用しながら意見や要望を把握し、協議して改善を図っている。日頃の業務への助言指導やスキルアップを図る研修の実施に努め、勤務シフトには個人的事情にも十分配慮する等、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。外部研修時の受講料助成や処遇改善加算も取り入れて改善を図っており、職員の就労意欲に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務シフトは常に職員の希望を取り入れたシフト運営になっている 処遇改善加算も積極的に取り入れ賃金の改善に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修にも積極的に参加で来ている</p> <p>カンファレンスでもテーマを設け勉強会を行っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会さつま半島支部に加入</p> <p>年数回ほどの研修等に参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常時寄り添いケアを心掛けており、利用者様の発言を傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様より入居前の様子や生活歴、不安点・要望を十分に伺いあらゆる発言を傾聴し関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前のアセスメント時に利用者様・ご家族・担当ケアマネジャーから詳細な状況を聞き、対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させていただくという姿勢を大切にしている 安心して過ごせるように共存できる関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で本人様の状態をご報告し、ご家族の要望等も伺っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コミュニケーション良好な方は行きたい場所にお連れしている 知人・友人の面会やご家族と外出されたり馴染みの関係が保たれている	入所時のアセスメントや日頃の会話、家族からの情報等で利用者毎の馴染みに関する情報を共有し、心身の状態や思いに配慮しながら散歩や買い物、通院、外食、ドライブ、地域行事等に家族の協力を得ながら出かけている。家族、友人等の来訪時には、ゆっくり面談出来るように配慮し、遠方の家族には電話・手紙を取り次ぎ、お便りや写真、電話等で近況を伝える等、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その方の性格や状態を理解し、楽しく声を掛け合って孤立の無い場作りを心掛けている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設外でお見かけした時にはお声掛けしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者がケアプラン作成時に、本人様・ご家族に希望や意向の確認を取り、計画に取り入れ、日々のケアに活かしている	利用者の見守りや寄り添いに努め、日頃の会話や表情、サイン等で想いを丁寧に把握し、理念に沿った平穏な暮らしの支援に取り組んでいる。全員での活動に加え、利用者個人の趣味（パズルや読書、ぬり絵他）や家事（食材の下処理やテーブル拭き他）の取り組みも心身の状況に配慮しながら支援しており、達成感が得られるように、その都度、感謝や評価の言葉掛けを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント・それまで入所されていた施設等からのサマリー等で情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様の心身の状態等把握し、月1回のカンファレンス等の検討でスタッフ全員で情報を共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族から意向を伺い、カンファレンスで意見を出し合い、その方の現状に合った介護計画を作成している	本人・家族の意向を把握し、主治医や訪問看護師の指示や日頃のケアの状況、カンファレンスやモニタリング時の意見等を基に、生きがいにも着目した利用者主体の介護計画を作成している。支援の状況は「生活日誌」や「個別日常生活記録」「バイタルチェック表」等で共有し、利用者の状況変化に応じて計画の見直しと修正を行って改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録への記入とその内容を基にしたカンファレンスで以降の実践やプランの見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変なサービス提供に取り組んでいる 身体の状態変化があったときは訪看・かかりつけ医と連携を図り、その時のニーズに合わせて対応できるよう取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域神社の参拝等で地域資源を活用している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を継続している 定期受診時はスタッフが帯同している	かかりつけ医は本人及び家族が希望する医療機関としており、通院は専門科受診も含めて家族と協力して同行している。週一回の訪問看護により、健康管理や感染症予防等を徹底し、各医療機関との連携体制も構築されており、家族とも密に連絡を取り合って適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪看訪問時に相談・報告をし、処置や受診等のアドバイスを受けている 緊急時や夜間でも相談が出来る		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはサマリーを作成・提供している 入院中は面会に行き、医師・看護師との情報交換に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時、看取りの説明を行っている 終末期をどのように迎えるか確認しており、本人様・ご家族・かかりつけ医と連携を図り、納得のいく終末期を過ごせるよう支援している	「重度化した場合の対応と看取りに関する指針」を整備し、入所時に利用者や家族に説明して理解を得ている。重度化した時点で利用者や家族と十分な話し合いを行い、可能な限り希望される終末期のケアに取り組んでいる。最終段階で医療機関への入院を選択される事例もみられているが、これまで2件ホームでの看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・初期対応を訪看や外部研修で受けている AEDを常設している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行っている 運営推進会議で地域との協力体制も確認している</p>	<p>年2回夜間を含む火災発生を想定した訓練を実施し、併せて消火器やAEDの取り扱い等の研修も行い、また、風水害に備えた避難計画も作成している。日頃から避難経路の確認や災害報道等も話題にして防災への意識を共有し、原子力発電の災害訓練にも参加している。AEDについては地域住民にも必要時には活用されるよう伝えている。スプリンクラーや火災通報装置が設置され、懐中電灯、ラジオ、卓上コンロ等の備品や食料品や飲料水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の人格を尊重し、言葉遣い・態度に気を付け、その時に合った対応をしている	プライバシーの保護や個人情報の取扱いについては研修の実施で理解を共有しており、尊厳や誇りを傷つけるような言動が無いように常に留意している。利用者が自己決定できるような働きかけに努め、意思を尊重しながら柔軟なケアに努めており、特に衣服交換や入浴、排泄時の支援は羞恥心にも細かに配慮している。ホームはプライバシー保護に配慮された構造で、利用者に係る台帳類についても適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限りご利用者様の思い・希望を伺い、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々状況・環境に応じてできるだけ希望に沿えるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝髪に櫛を通し、外出時の身嗜み等支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作成時に意向を伺ったり、調理のお手伝いや後片付けをお手伝いしていただいている 時には外食にも出かけている	日頃の会話から希望を把握し、頂いた野菜等も活用しながら、栄養バランスや形態、代替食、盛り付けなどに配慮して食事が楽しみとなるよう調理している。おせちや敬老会、誕生日等の行事食やバイキング、レストランでの外食、家族との会食、手作りのおやつ、園庭でのランチやお茶のみ、全員でうどんを手打ちする等工夫しており、利用者も食材の下処理等を楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、一人ひとりに応じた支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け・誘導（介助）の実施・夜間の義歯洗浄液での消毒保管を実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録表を活用し、個別に検討しながら行っている 出来るだけトイレでの排泄を促している	排泄記録表で利用者毎の排泄パターンを把握し、見守りや声かけに努めて可能な限りトイレ（3部屋に1か所設置）での排泄を支援している。利用者の状況に応じたケアの方法や介護用品を介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、ポータブルトイレが不要となる等の改善が見られている。乳製品や水分の摂取、運動量に配慮して便秘予防に努め、主治医の指示も得ながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事と水分補給、体操等で体を動かすことを日々の内容に盛り込んでいる 便秘気味の方はかかりつけ医に相談し内服を処方してもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望に出来るだけ添えるように対応している 声掛けにて1日おきに実施している	利用者の心身の状態に配慮し、シャワー浴や清拭も取り入れながら週3回の入浴を支援している。排泄の失敗等で汚染した場合は直ちに清拭やシャワーで清潔を保ち、入浴時間や温度、毎日の入浴、好みのシャンプー等は利用者の意思に沿って柔軟に対応して楽しんで貰っている。入浴をためらう場合には、日時、職員の変更や声かけ等を工夫して、利用者自身が意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度・湿度に気を付け、就寝までは思い思いに過ごしていただいている 傾眠の強い場合等、声掛けで午睡してもらうこともある		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りや連絡ノート等でスタッフ間で情報を共有している 薬説明書を個人台帳に綴り、いつでも確認できるよう努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理のお手伝い・後片付けや毎月のドライブ等実施している。 好天時は外気浴を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブに出掛けたり外食したりしている 家族との外出・外泊も自由にさせて頂いている	利用者の心身の状態や天候に配慮しながら、日常的に園庭及び周辺の散歩や日光浴、通院等に出かけている。墓参や一時帰宅、外食等の外出は家族の協力を得ながら取り組み、また、初詣でや季節の花見、ドライブ、地域のイベントの見物など、全員での外出も毎月計画的に実施しており、利用者の楽しみとなっている。個人的な外出の希望にも、可能な限り工夫しながら対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預り金を保管し、必要時にいつでも利用できるよう支援している</p> <p>本人様が所持を希望される場合はご家族に申し出・相談し、所持出来る様にしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があれば時間を問わず対応している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には季節の展示物や花を活けている</p> <p>窓からは季節の花が見え、季節感を感じられる空間作りをしている</p>	<p>高い天井に落ち着いた色調の内装、4層構造の壁や2重ガラスのサッシなど、防音、防火、快適さに十分配慮され、全体的に余裕ある建物である。リビングには、テーブルセットやソファ等が利便性や対人関係等を考慮して配置され、清掃や衛生管理が徹底されている。利用者の作品や写真、活花等が随所に飾られ、周辺の田園も眺められて、和やかで落ち着いた雰囲気となっており、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを置き、利用者同士の語らいが出来ている</p> <p>利用者同士の話し易い席等の配慮をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時に自宅で使用していた家具やTVを持ち込んでいただいている</p> <p>写真を飾ったりして居心地良く過ごせるよう工夫している</p>	<p>フローリングに腰高窓の居室は明るく余裕があり、利用者の身体状況に合わせたベッドやエアコン、クローゼット、ナースコール等が備えら、各居室の入口には自室を戸惑うことの無いよう名前が工夫して表示されている。利用者の意向に沿って清掃等を支援し、利用者は使い慣れた寝具やテレビ、家族写真、遺影、椅子等を持ち込み、また、自身の作品や長寿の祝詞等も飾って安心して寛げる居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手摺等一部増設の必要がある時は対応している</p> <p>個々に合った出来る事を探り、声掛け・見守りをし無理せず行っていたけるよう工夫している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない